

持続可能なまちを創造していく①



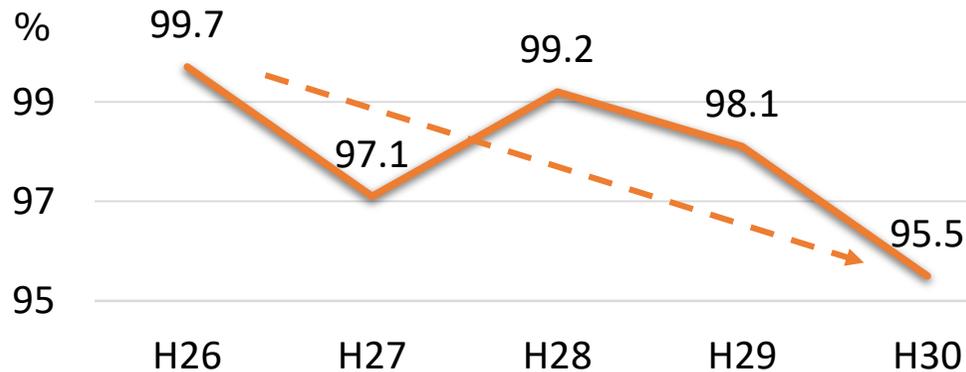
本物力こそ名力

果敢に挑戦した「改革」～納税者の視点で次の世代に責任ある財政に～

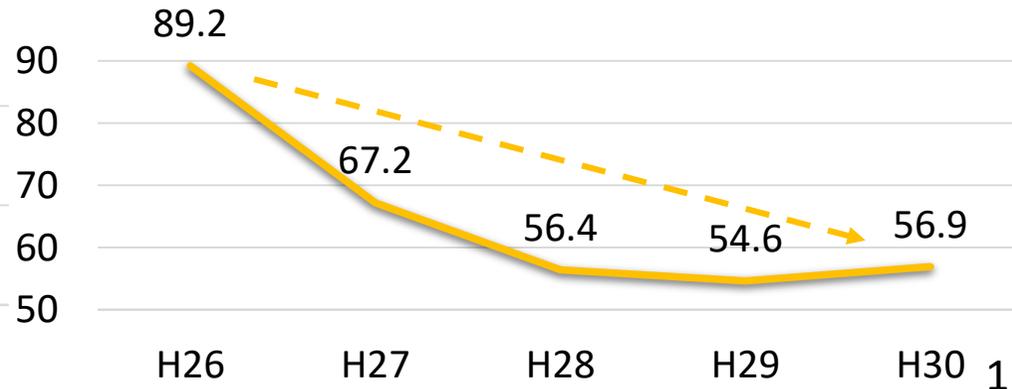


財政の危機的な状況は突破！

経常収支比率の推移



将来負担比率の推移



持続可能なまちを創造していく②

「改革」と並行し、市民の暮らし・まちの魅力向上へしっかりと投資！

不断の行財政改革と並行して、新病院の整備や桑名駅周辺の整備など、市民の暮らしの向上、まちの魅力の向上のために、将来を見据えた投資にもしっかりと取り組んできた。



桑名駅周辺複合施設等整備に係る事業者提案イメージパース

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）との闘い

～市民の命や暮らし、地域経済を守り抜く対策～

第1弾！

- ・桑名市プレミアム付き応援食事券
- ・利子補給制度の拡充
- ・マスク・消毒液の福祉・医療機関等への配布
など

第3弾！

- ・1人あたり10万円給付(特別定額給付金)
- ・コールセンター設置(行政書士会の協力)
- ・機動的な財政出動を可能とする基金創設
など

第2弾！

- ・PCR検査における検体採取場所確保
- ・住居を失う恐れのある人等への支援
- ・離職等を余儀なくされた人への対策
など

第4弾！

- ・水道料金基本料金2期分無料化
- ・県・市協調の休業要請協力金
- ・郵便申請による証明書交付手数料無料化
など

COVID-19関連対策 補正予算規模 計165.0億円

(令和2年度一般会計当初予算規模 508.2億円)



新型感染症の脅威と向き合って

今般の新型感染症の脅威と向き合い、社会の持続可能性を改めて考える契機となった。「次の世代への責任」を果たし、「今を生きる市民の負託」にしっかりと応えていくことが、望ましい持続可能なまちの実現へとつながっていく。

本年度スタートした桑名市総合計画後期基本計画では、計画の基本視点としてSDGs（持続可能な開発目標）の理念を新たに位置付けている



持続可能なまちを創造していく⑤

“Withコロナ”“Afterコロナ”の新たな暮らし・社会環境等のスタイル

人々の価値観・趣向、ライフスタイル等は、加速度的に変化している！

教育

GIGAスクール構想



医療

オンライン診療



ビジネス

テレワーク
オンライン会議・商談



人と人との
接触↓

移動抑制

三密対策

ICT技術
活用

住まい

リビングシフト
都市⇒地方



エンターテインメント

無観客ライブ配信



防災(感染対策)

防災(感染対策)IT化
・アプリ



コロナ禍での移動抑制や人と人との接触機会の低減は、社会のデジタル化を一層加速させる！

⇒社会全体でDX（デジタル・トランスフォーメーション）が推進される！

“Withコロナ”“Afterコロナ”の中で行政も変わらなければならない

人々の価値観・趣向、ライフスタイル等が加速度的に変化している中、
行政はこれを支えるとともに、これを牽引していける存在に！

全国的にも行政のDX（デジタル・トランスフォーメーション）は立ち遅れている状況。しかし、本市の行政サービス、特に行政窓口での手続きについては改革をさらに進めていきたい。



従来の窓口来庁での手続き



パソコン・スマホで手続き完了！

DXに限らず、こうした人々・社会の変化をとらえて、
従来の慣行や制度を一つひとつ見直していくことが重要！

持続可能な行政運営へ

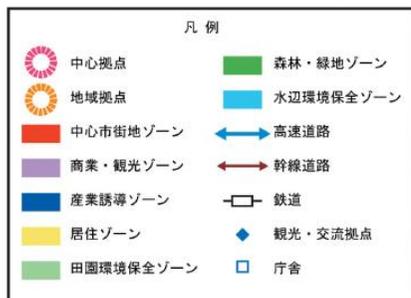
“Withコロナ”“Afterコロナ”におけるモノの動きにも変化

感染拡大を防止するための移動制限や生産活動の停止は、製造するモノの動きも急激に停滞させ、グローバル規模のサプライチェーンを毀損するなど、世界経済に大きな打撃を与えている。

⇒ サプライチェーンの国内回帰の動きも

本市への企業立地を促進し、“稼ぐ力”も備わった力強い財政へ！

土地利用構想図



行財政改革は次のステージへ
“稼ぐ”視点

持続可能なまちを創るため、7つのビジョンを実現させよう！

中央集権型から全員参加型の市政に

こどもを3人育てられるまち

地理的優位性を活かした元気なまち

命を守ることが最優先

世界に向けて開かれたまち

桑名をまちごと『ブランド』に

納税者の視点で次の世代に責任ある財政に

企業を積極的に誘致

SDGs 持続可能なまちづくりの推進

地域住民・コミュニティの活躍

スマホのようなスマートで便利な自治体に



規模を小さくコンパクトに

オールインワン多機能複合化

行政手続きデジタル化

縦割りを打破
ヒト・モノ・情報のシェア

異分野連携のシナジー

民間事業者とのパートナーシップ

先端の革新的な技術の活用

地域包括ケアシステム・共生社会